



塩釜地区防災安全協会

会報

第30号



第71回「文化財防火デー」に伴う国宝・瑞巖寺での消防訓練

令和7年度 塩釜地区統一防火標語

火の始末 気に掛け声掛け 再確認

まがら ゆうや
会社員 眞柄 裕也 さん

INDEX

会報30号 目次



■ ごあいさつ	
塩釜地区防災安全協会 会長 阿部 建夫	1
塩釜地区消防事務組合 消防長 星 和彦	1
■ 祝 受賞おめでとうございます!!	2
■ 移動研修会に参加して	
公益社団法人 宮城県塩釜医師会 永沼 仁美	3
■ 宮城県石油コンビナート等防災訓練を視察して	
株式会社ニヤクコーポレーション東北支店多賀城事業所 秋山 和士	4
■ 消防訓練視察研修会に参加して	
多賀城市鶴ヶ谷児童館 太田 真伊	5
■ 防災講演会を聴講して	
利府町立利府第二小学校 鈴木 達哉	6
■ 新年研修会に参加して	
株式会社むとう屋 佐々木 憲作	7
● 第41回消火技術コンクール中止	
■ 令和6年の火災概要・市町別火災発生状況	
令和6年の救急概要・市町別救急出場状況	8
■ 令和6年塩釜地区管内の火災事例	9
■ リチウムイオンバッテリーの取り扱いにご注意を!	11
● 電子メール登録をお願いします	
■ 電子メールによる電子申請を受付中!	12
■ 試験・講習等のお知らせ	13
■ 令和7年度塩釜地区統一防火標語入選作品	14
■ 入会事業所のご紹介	14
● 防災DVDの貸出しについて	
● 編集後記	

【表紙写真】第71回「文化財防火デー」に伴う国宝・瑞巖寺での消防訓練

国宝・瑞巖寺境内の天皇、皇族、藩主専用の門である御成門(国重文)前から一斉放水を行いました。
(令和7(2025)年1月25日:写真提供/松島町)

【塩釜地区防災安全協会】

平成7年5月、塩釜地区防火管理者協議会と塩釜地区危険物安全協会が合併し現在に至る。会員相互の防火思想の普及高揚や防災業務関係者に対する教育訓練指導等により、各事業所の発展と会員相互の融和親睦を図り、社会公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。

●会員事業所数(令和7年1月末日時点)

延べ618事業所(防火管理部会409事業所・危険物保安部会209事業所)



令和7(2025)年 ごあいさつ

令和7年の輝かしい新春を迎え、会員の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。



塩釜地区防災安全協会

会長 阿部 建夫

皆様には、平素より当協会の事業運営に格別なるご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。おかげをもちまして、今年度計画していた各事業とも多数の参加を賜り、当協会の目的であります防火防災思想の普及高揚と会員相互の融和親睦に大きな成果を上げることができました。これもひとえに、会員皆様方が当協会の設立目的を理解され、防火防災に真摯に取り組まれた表れであり、重ねて感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、元日に令和6年能登半島地震が発生し、5月からの大雨や台風による災害、8月には宮崎県日向灘を震源とする地震が発生する等、日本各地で災害が相次ぎ数多くの尊い命が失われました。また、地域社会では、物価高騰や少子高齢化の進展による労働力不足等の影響もあったのではないのでしょうか。

年が明け、今年で阪神・淡路大震災から30年が経過いたしました。東日本大震災を経験しました我々にとりましては、決して震災を風化させることなく、得た教訓を次世代へ継承する想いを新たにするとところでございます。

会員の皆様には、引き続き各事業所における安全に対する意識の高揚と安全管理体制の確立を図るとともに、日夜、防火指導や予防広報に努められている消防当局と連携し、防火防災力の高い地域社会を目指しご精励いただきたいと考えております。

当協会といたしましても、本年もより一層皆様との意見交換等を密にし、事業を推進して参りますので、変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、会員皆様のご健勝とご多幸、そして本年が、災害のない平穏な一年でありますことを祈念し、新年のご挨拶といたします。

希望あふれる令和7年の新春を迎え、塩釜地区防災安全協会会員の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。



塩釜地区消防事務組合

消防長 星 和彦

会員の皆様におかれましては日頃、各ご家庭や事業所における防火管理業務の推進と危険物の適正管理にご尽力されておりますことに心から敬意を表しますとともに、私ども消防に対しておご理解とご協力を賜りこの場をお借りしまして感謝を申し上げます。

近年、住民の安全を脅かす災害が頻発し、昨年も全国各地で地震や台風等の大規模な自然災害により、多くの方が犠牲になりました。そのような中、今年1月には政府の地震調査委員会

が、海溝型地震などの30年以内の発生確率を引き上げたところ。それによりますます宮城県沖地震は80(90%)となり(昨年1月時点では70(90%)、マグニチュード7.4前後の地震を予測しているとのこと。このように、今後も相次いで発生するであろう災害等に迅速



結びに、今年一年の平穏を願いますとともに、塩釜地区防災安全協会の益々のご発展と、会員皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。

祝 受賞おめでとうございます!!

令和6年度定期総会において、日頃の防火管理又は危険物保安に関し、功績が認められた会員事業所及び個人の皆様に対し、会長より表彰状と楯が贈られました。

また、同じく永年にわたる危険物施設の安全管理や危険物の安全な取扱い作業への功労が認められ、会員事業所及び個人が（一社）宮城県危険物安全協会連合会長より優良事業所表彰、優良危険物取扱者表彰をそれぞれ受賞されました。

受賞されました事業所そして個人の皆様おめでとうございます！



塩釜地区防災安全協会表彰

◎令和6年5月31日（金）
（塩釜地区防災安全協会定期総会）
於…ホテルグランドパレス塩釜

◆優良事業所表彰 12事業所 【防火管理部会】 7事業所

- 塩釜市
- ・社会福祉法人 あゆみ会
 - ・あゆみ保育園
- 多賀城市
- ・グループホーム 小松崎あさひ園
 - ・ビジネスイン大代いとう
- 医療法人 山田憲一内科医院
- 松島町
- ・松島戸田ビル
- 七ヶ浜町
- ・株式会社ヤマザワ 汐見台店
- 利府町
- ・みやぎ生活協同組合 利府店

【危険物保安部会】 5事業所

- 塩釜市
- ・湊商事株式会社
 - ・カーケアステーション泉沢
- 多賀城市
- ・ソニーストレンジメディア
 - ・ミニユファクチャリング株式会社
- 松島町
- ・株式会社 鈴憲商店
- 七ヶ浜町
- ・第一貨物株式会社
- 利府町
- ・東日本旅客鉄道株式会社
 - ・新幹線総合車両センター

◆優良個人表彰 4名 【防火管理部会】 2名

- 塩釜市
- ・社会福祉法人 玉川保育園
- 村上天嗣
- 多賀城市
- ・医療法人 寶樹会 仙塩総合病院
- 佐々木 誠治

【危険物保安部会】 2名

- 塩釜市
- ・井上米穀店
- 井上 啓
- 多賀城市
- ・門馬商事株式会社 仙台営業所
- 大槻 喬

※出席できなかった受賞事業所及び個人の皆様には、後日事務局より表彰の伝達をさせていただきます。



（一社）宮城県危険物安全協会連合会会長表彰

◎令和6年6月27日（木）
（宮城県危険物安全協会連合会危険物安全大会）
於…ホテルメトロポリタン仙台

◆優良事業所表彰

- 塩釜市
- ・有限会社 吉本商店
- 七ヶ浜町
- ・日本アルコール物流株式会社
- 仙台営業所

◆優良危険物取扱者表彰

- 多賀城市
- ・東亜道路工業株式会社
- 東北支店 宮城工場
- 大木 敏弘



移動研修会に参加して

公益社団法人 宮城県塩釜医師会 永沼 仁美

令和6年度の移動研修会は、9月19日（木）に日帰りで、宮城県角田市にあります「アイリスオーヤマ（株）角田I・T・P工場」様を視察いたしました。阿部会長をはじめとした役員と会員の皆様、また事務局の皆様、総勢25名が参加しました。

JR本塩釜駅アクアゲート口から出発し、名取市のサッポロビール園で昼食後、「アイリスオーヤマ（株）角田I・T・P工場」様に到着。出迎えてくださった専門スタッフの方々が早速案内してくださいました。

はじめに会社概要の説明がありました。アイリスオーヤマさんと言え



ば、生活家電のイメージがありますが、角田工場ではプラスチック製品からお米の加工品まで様々な商品が作られているそうです。会社説明後



に行われる「新商品開発会議」から生まれるそうで、商品開発に関わるあらゆる部門の社員が一堂に会話し、スピーディーな商品化を可能にしているとのことでした。

その後、「餅・パックごはん工場」を見学しました。残念ながらタイミングが悪く、全ての生産ラインが一時的に停止していたため、スタッフの方から説明を受けました。パックごはんの生産工程は、「精米」↓「洗米・浸漬」↓「容器送り・米充填・加熱殺菌」↓「水充填・仮シール」↓「本シール・炊飯」↓「リークテスト・冷却・脱水」↓「ピローフィルム」↓「梱包」となる

はショールームを見学しました。生活商品がびっしりとディスプレイされており、約1万5千点

の商品は全て、社長も出席する毎週月曜日

ようでした。工場内ではお米パックごはんだけでなくお餅も製造しており、出来上がったお餅が箱詰めされるまで全てマシンで行われているとのことでした。工場内はとても清潔な雰囲気、床もゴミなどは全く落ちておらずキレイでしたが、何より、見学している私たちへの社員さんの挨拶がとても印象的でした。

次に工場で作られた商品を保管している自動倉庫を見学しました。圧巻の広さと高さを誇る倉庫は国内最大級で、注文に応じて商品を自動的に倉庫から運び出すことが出来るのだそうです。その広大な自動倉庫を見て圧倒されました。

その後、様々な商品を開発したり実験したりしている実験室を見学しました。日々いろいろな実験を行っている商品化を進めているとのことでした。日々改良を重ねてこそヒット商品が生まれるのだなあと大変勉強になりました。



見学後の質疑応答では、防災対策の取り組み状況について説明を受けました。令和元年の東日本台風災害の際、工場は被害



には遭わなかったものの、工場にある体育館は指定緊急避難場所になっていて、社員、住民の方々が避難所として利用されたそうです。昨年の能登半島地震では被災企業として、支援物資の提供などを通して

で、復興支援に貢献しているとのことでした。素晴らしい取り組みだと感じました。また、開発中の商品のお話が聞けました。日々、さまざまな防災対策の商品開発を進めていること。使用済みのマスクを何かの形で再利用できないかと検討しているとのことでした。どのような形で商品化されるのかを期待しています。

今回初めて移動研修会に参加させていただき、なかなか見学できない事業所を視察することができて、大変有意義な研修になりました。この場をお借りしまして塩釜地区防災安全協会の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

宮城県石油コンビナート等 防災訓練を視察して

株式会社ニヤクコーポレーション東北支店多賀城事業所

秋山 和士



の計15の関係機関から約200人、車両等46台が参加しました。

コンビナート敷地内に対策本部を設置し、航空ヘリから被害の状況を確認した後、配管から漏れた油を防御し、続く危険物タンクの火災には高所放水車など22台が出勤して消火にあたり、さらには海に流出した油が広がらないようにオイルフェンスを張るなど、発災時の応急対策の手順を確認しました。また、高圧ガス施設では、配管から漏れた可燃性ガスへの引火を防ぐため、ブローアースと呼ばれる特殊な車両で霧状にした水を大量に放水しながら、負傷した作業員の救助訓練が行われました。

10月22日に仙台地区石油コンビナートで行われました、宮城県石油コンビナート等防災訓練視察研修会に参加させていただきました。訓練は、仙台市で最大震度6弱を観測する地震が発生し、コンビナート内の施設が甚大な被害を受けたという想定で行われ、国や県、市町、事業所

私が勤めている株式会社ニヤクコーポレーション東北支店多賀城事業所では、石油・ガス・化学品等の輸送を行っています。会場となった仙台地区石油コンビナートには、石油製品の積み込みなどで一日に数十台の車輛が作業しています。いつ起こるか予想のできない災害に対し、石



油コンビナート等を利用する一員として、災害時の対応について知っておくことは必要不可欠です。

国土交通省では、激甚化・頻発化する自然災害などを受けて2021年に働き方、住まい方、生き方に対する国民の意識の変化等に関する調査を実施しました。この国民意識調査の結果によれば、10年ほど前（東日本大震災前）との比較において、自然災害の発生件数及び自然災害の

規模の感じ方は、発生件数は増加、規模についても大きくなってきていると感じる人の割合が多くなっており、災害の激甚化・頻発化を背景に、災害に対する警戒感が高まっていると考えられます。石油コンビナートでの災害は人々の生活に大きく影響します。危機意識の高まりの中、より一層災害時の対応について確認し、緊急時に適切な行動がとれるよう日頃から常に意識していきたいと思えます。

最後に、本研修会の企画・運営に携わってくださった皆様に、厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。



消防訓練視察研修会に参加して

多賀城市鶴ヶ谷児童館 太田 真伊

令和6年11月13日（水）、宮城県職業能力開発促進センター『ポリテクセンター宮城』にて『消防訓練視察研修会』が実施されました。この時期は、全国各地での火災のニュースを聞くことが増えおり、宮城県内で発生した火災のニュースも聞かれ始めていた頃でした。

私は今回初めての参加となりましたが、初期消火の役割をいただき、参加受付をした後はヘルメットを被ってポリテクセンターの建物内に



待機していました。訓練開始時間が近づくにつれ、玄関に設置していた煙を発生させる装置から白い煙が放出され、その煙は次第にガラスの扉の隙間をすり抜けて私が待機しているところにも入り込んできました。そして、気づくと頭の上にまで白い煙が広がってきていたのです。訓練が始まり、避難指示を受け、消火器を持って、姿勢を低くしながら真っ白な煙で覆われた玄関を通り抜け、建物外へと避難をし、その後消火作業を行いました。燃えている火を目の前にして、最初は「このぐらいの小さな火なら消せるでしょう」と思ったのですが、実際はなかなか消えず、消火器から水を出し続けていると手元の消火器はどんどん軽くなり、それでも消えない火を前に少し焦りが生まれ始めました。実際に燃えている火に向けて消火作業を行う体験はとても貴重なものでした。

その後は、消火作業を担当した皆様も避難をして、消防車による放水作業やはしご車による避難者の救出を見学しました。目の前で放水される



水量の多さに驚きつつ、消防隊の方々が一つひとつ声に出して指をさしながら確認をして、声をかけ合っている様子に、声に出して伝え合うことの大切さを再確認しました。また、ポリテクセンターの職員さんの避難誘導は簡潔でとても分かりやすく、

誰でも分かる言葉で伝えることも大切だと思いました。

児童館は、0歳から18歳までの子どもとその保護者の皆さんが利用される施設です。毎日利用者の人数もメンバーも違い、1日の中でも時間帯によって利用者の構成が変わります。利用者の皆さんを守ることで、できるように、あらゆる場面を想定し、職員が実際に動けるような訓練をもっと行っていきたいと思いました。

今後実際に目を見て、肌で感じて体験できる機会を通して、防災・減災意識を高めていきたいと思います。このような研修会を実施していただきありがとうございました。



防災講演会を聴講して

利府町立利府第二小学校 鈴木達哉

令和6年度防災講演会が、11月21日に七ヶ浜国際村ホールで開催されました。講師に東北大学災害科学国際研究所教授の邑本俊亮氏を迎え、「災害時の人間の心理と行動」人は何を思い、どう行動するのか」という演題でご講演をいただきました。邑本先生は認知心理学が専門ということで、「災害時に人間の心理は行動にどのような影響を与えるのか」という点について、とても興味深い話を聞くことができました。



認知心理学とは「目から入る情報
↓ 認知・理解 ↓ 判断 ↓ 意思決定 ↓ 行動」というように、人間を情報処理を行うシステムと捉え、災害時には認知・理解から意思決定までの部分で期待や思い込みが生じることで、無意識のうちに心理的安定を求めるという話でした。そして、災害時にリスク情報が入った場合、「自分だ

けは大丈夫。前回も大丈夫だったから。」というように正常化バイアスが働いてしまうため、普段からこのバイアスを振り払う心構えが大切であるということが、とても勉強になりました。

また、災害時には熟慮的思考が働きにくくなったり、家族のことが気になったりするそうです。東日本大震災においてもすぐに避難しなかった理由として、家族を探しに行ったり、迎えに行ったりしたことが多かったという事です。釜石の「津波でんでんこ」は、家族それぞれ自分の命を守ることが家族全員の命を守ることにつながり、そのためには各自



が必ず逃げるといふ信頼関係がしっかりと構築されているという話でした。普段から家族で約束事を決めて災害時に備えておくことが大切であると改めて感じました。

さらに、「人間は覚えた場所です思い出しやすい」という話を聞いて、実地訓練や身体で覚えることが大切であり、防災訓練の重要性を改めて確認することができました。

最後に、「災害を知る。人間の認知特性を知る。災害を生き抜く力を育む。震災を忘れない。」ことが大切であるという言葉がとても心に残りました。人間の記憶は時間とともに薄れるので、忘れないためには何度か思い出すことが大切であるということとを再認識することができました。

このような講演会を企画していただきました。塩釜地区防災安全協会事務局の皆様と講師の邑本俊亮先生に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



「新年研修会に参加して」

株式会社むとう屋 佐々木 憲作

1月17日、塩竈市のホテルグランドパレス塩釜にて新年研修会が開催されました。

演題は、声と話し方コンサルタントの赤間裕子氏による「コミュニケーション力向上！ 伝える伝わる声と話し方」でした。弊社の商売、素より人と関わるうえで重要な話であるとして、演題を拝見した時に感じ楽しみにしておりました。

私自身、普段から声が小さい、言葉が足りない、言葉がつかえると、三冠を取っていると言われてしまうことが多かったため、とても興味深い内容でありました。お話を聞いて



いく中で感じたことは、言葉足らずで相手に話すと、人によって感じ方や捉え方が全く違うということ。私は普段から従業員に考えてもらうことを意識しております。私がしっかりとコンセプトを話し、終着地点は同じでも進め方は人それぞれでも良いと感じております。時折「何でこうなる？」と感じることもあります、それは私自身が相手に対し、しっか

り内容を伝えていないからだと感じました。このタイミングで気付けたことが本当に大きく、そして糧となりえたこと、非常に嬉しく思います。

そして、普段から感じていたことを再確認できたのが、「わかりやすい言葉で話す」ことです。私は日本酒をメインに商いをしております。どの業種もそうですが、「業界用語」が多くあります。普段から従業員には、お客様と接するとき「業界用語はあまり使わず、自分の言葉に変えて話す」ことを伝えております。その方が自分自身のためにもなりますし、お客様との距離も縮まる上、日本酒にもっと興味を持っていただけると感じております。

日本酒は昨年12月にユネスコ無形文化遺産「伝統的酒造り」に認定さ



第41回消火技術コンクールは 残念ながら中止

第41回消火技術コンクール(10/3、予備日10/9:モリリン加瀬沼公園)は、両日とも雨天のため残念ながら中止となりました。

今回のコンクールには、会員事業所を含む各事業所、女性防火クラブ、自主防災組織及び構成市町から、前回は上回る73チーム146名もの選手から出場申し込みがあり、防火防災意識の高まりを感じることができました。

もしものときに備え、ぜひ次回以降もより多くの会員事業所皆様の出場をお待ちしています。

れました。コロナウイルス感染拡大を期にアルコールの消費量が減っており。しかし、そのような中でも「このような素晴らしいものが身近にある。」と、私たちはこれからも皆様に伝えていくことを生業としていきたい。そのために今後もコミュニケーション力を向上させることに努めたいと思っています。

最後に、このような貴重な研修会を企画していただきました塩釜地区防災安全協会事務局の皆様と講師であります赤間裕子氏に心から感謝申し上げます。

令和6年の救急概要

消防本部警防課

① 出場件数・搬送人員がともに減少

出場件数が10,505件(前年比138件減)、搬送人員が9,930人(同20人減)となり、過去最多であった前年からともに減少しました。これは1日平均28.7件救急車が出場し、住民の18.2人に1人の割合で救急隊によって救急搬送されたことになります。

② 「急病」が最多(事故別出場件数)

急病が7,437件(全体の70.8%)で最も多く、次いで一般負傷が1,478件(同14.1%)、以下、転院搬送、交通事故の順になりました。

③ 「中等症」が最多(傷病程度別搬送人員)

中等症が5,906人(同59.5%)で最も多く、次いで軽症が2,980人(同30.0%)、以下、重症、死亡の順になりました。

④ 年齢区分別搬送人員

高齢者(65歳以上)が6,579人(同66.3%)で最も多く、次いで成人が2,519人(同25.4%)、以下、乳幼児、少年、新生児の順になりました。

令和6年の火災概要

消防本部予防課

(令和6年12月31日現在)

① 出火件数が前年比で7件増加

出火件数が53件で前年に比べ7件増加し、およそ7日に1件の割合で火災が発生しました。火災種別では建物火災が27件(前年29件)で最も多く、以下その他の火災、車両火災、(林野火災と船舶火災はともに0件)の順になりました。

② 出火原因は「放火・放火の疑い」が最多

出火原因は「放火・放火の疑い」が10件で最も多く、次いで「たばこ」と「電気関係」がともに8件、以下「こんろ」「火遊び」他の順になりました(調査中5件)。

③ 死者が増加

火災による死者が3人(前年2人)、負傷者が10人(同12人)発生しました。

④ 初期消火成功率は73.0%(27件成功)

出火件数53件のうち初期消火が37件(69.8%)で実施され、このうち27件(73.0%)が消火に成功しました。

市町別火災発生状況

※()は前年の出火件数

区 分	単 位	総 計	塩竈市	多賀城市	松島町	七ヶ浜町	利府町
出 火 件 数	総 計	53(46)	17(15)	15(12)	7(6)	2(8)	12(5)
	建 物	27(29)	9(11)	9(6)	2(5)	0(5)	7(2)
	住 宅	16(16)	5(6)	8(4)	1(3)	0(3)	2(0)
	林 野	0(1)	0(0)	0(0)	0(1)	0(0)	0(0)
	車 両	5(1)	2(0)	1(1)	0(0)	0(0)	2(0)
	船 舶	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	そ の 他	21(15)	6(4)	5(5)	5(0)	2(3)	3(3)
焼損棟数		棟	36	8	15	6	7
り災世帯/人員		世帯/人	23/37	6/10	12/19	3/5	0/0
損害額(調査中3件)		千円	31,940	3,005	14,391	12,528	0
死者/負傷者		人	3/10	0/1	3/5	0/3	0/1

市町別救急出場状況

区 分		合 計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	他
総 計	出場件数	10,505	31	0	3	390	72	80	1,478	43	71	7,437	898	2
	搬送人員	9,930	13	0	2	374	70	79	1,425	35	51	6,985	896	0
塩 竈 市	出場件数	3,533	11	0	2	100	18	8	461	14	21	2,452	444	2
	搬送人員	3,346	3	0	1	97	18	8	445	11	15	2,305	443	0
多賀城市	出場件数	3,142	9	0	0	146	19	13	449	19	21	2,297	169	0
	搬送人員	2,960	6	0	0	142	19	13	432	16	21	2,142	169	0
松 島 町	出場件数	1,077	5	0	0	32	12	24	178	2	7	718	99	0
	搬送人員	1,002	2	0	0	31	11	24	176	2	3	655	98	0
七ヶ浜町	出場件数	902	1	0	0	24	8	6	121	2	4	714	22	0
	搬送人員	864	0	0	0	26	8	5	115	2	1	685	22	0
利 府 町	出場件数	1,845	4	0	1	88	15	29	269	6	18	1,252	163	0
	搬送人員	1,752	1	0	1	78	14	29	257	4	11	1,194	163	0
他 市 町	出場件数	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	0
	搬送人員	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	0

令和6年塩釜地区管内の火災事例

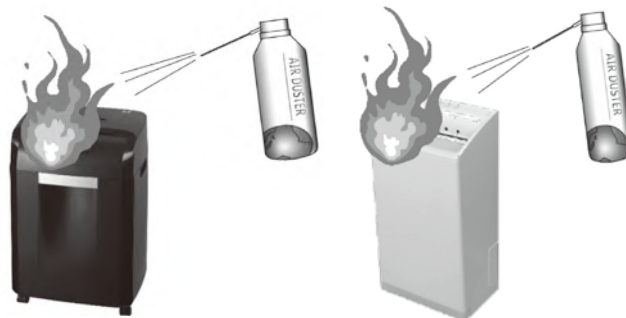
塩釜地区消防事務組合
消防本部予防課

令和6年中の火災事例を紹介します。同様の火災を発生させないよう発生原因等を学び、火災予防にお役立て下さい。私たちのまちから火災を無くしましょう！

火災事例 1 エアダスターの可燃性ガスに引火

1月、携帯電話等を販売する店舗で、エアダスターによりシュレッダーを清掃中、シュレッダーの作動による電気火花が可燃性ガスに引火した。店舗従業員がペットボトルの水で初期消火を実施。シュレッダー1台が焼損した。

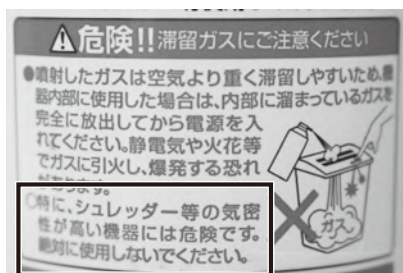
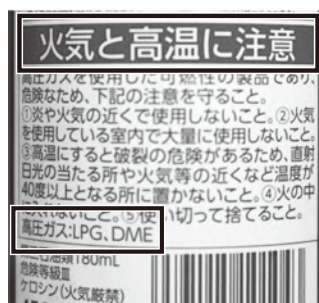
3月にも同様の火災があり、令和5年3月にはハンドドライヤーを清掃中に火災が発生し、従業員1名が負傷した（いずれも前述の店舗とは別の場所）。



ヘアスプレー、制汗スプレー、エアダスター、消毒剤などのスプレー缶には可燃性ガス（LPガス、DME※等）が使用されています。（※ジメチルエーテルの略）

また、エアダスター缶には「シュレッダー等には使用禁止」が、シュレッダー本体にも「可燃性ガスの噴射により引火・爆発するおそれ」の注意書きがそれぞれ記載されています。

【一例】



エアダスター缶の注意書き（一部）



▶ スプレー缶の使用上の注意点

- ① 炎や火気のある場所の近くでは使用しない！
→ ガスに引火して急激に燃え広がるおそれがある。
- ② 使用時や使用後は出入口を開けるなどして十分に換気を行う！
→ 可燃性ガスが滞留しないように気を付けてください。換気が終わるまでは、ライターや火花が発生する機器（ガスこんろ、換気扇、掃除機、ドライヤーなど）を使用しないでください。
- ③ 暖房器具の近くや直射日光が当たる場所など、高温になる場所にスプレー缶を置かない！
→ スプレー缶が熱せられると、内部のガスが膨張して内圧が上がり、スプレー缶が破裂するおそれがあります。
- ④ 最後まで出し切ってから廃棄する！
→ スプレー缶を捨てるときは、屋外の風通しのよい場所で、スプレーボタンを押すなどして中身を出し切ってください。中身が残っている状態で穴を開けると、漏れ出た可燃性ガスに引火するおそれがあります。廃棄方法は、お住まいの各自自治体の指示に従ってください。



火災事例 2 たばこの不始末等

4月、たばこの消火不完全により、樹脂製バケツに堆積していたたばこの吸い殻に着火し、バケツと雑巾に燃え広がった。このほか、たばこの不始末や投げ捨て等（推定含む）による火災が多数（1月、2月、5月、6月、8月、10月、12月）発生した。



※本事例とは関係ありません。

火災事例 3 危険物施設で爆発

8月、ガソリン蒸気が滞留している場所で溶接作業を実施したところ、溶接により発生した火花がガソリン蒸気に引火して爆発し、作業員1名が負傷した。



※本事例とは関係ありません。

火災事例 4 天ぷら鍋に火をかけたまま放置

12月、天ぷらを作ろうと鍋（調理油過熱防止装置なし）に火をかけた後、その場を離れてしまい油が発火した。座布団で初期消火に成功するも、居住者1名が負傷した。



※本事例とは関係ありません。

▶ こんろ使用上の注意点

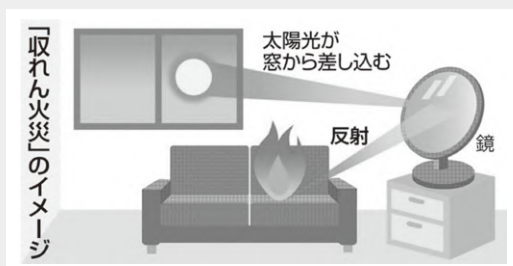
- ① 火をかけたら、その場を離れない！
- ② 取扱説明書に従い適切に使用する！
- ③ 常に整理、整頓、清掃するよう心掛ける！
- ④ 安全装置が付いた製品を使用しましょう！
- ⑤ 近くに燃えやすいものを置かない！
- ⑥ 着衣に着火しないよう注意する！
→ こんろの奥にある物を取るとき等は、火を消してから！
エプロンやアームカバーには防火製品を使用しましょう。
- ⑦ 万一、天ぷら鍋等の油の火災が発生しても絶対に水をかけてはいけません！炎が急拡大してしまいます。消火器やエアゾール式簡易消火器具で落ち着いて消火しましょう。

火災事例 5 太陽光でソファーから出火

12月、窓から差し込んだ太陽光が卓上鏡（凹面鏡）に反射し、収れんされた光が照射されたソファーの一部が焼損した。

▶ 収れん火災

太陽光が身近な日用品などに反射や屈折し、一点に集中した太陽光が、可燃物を発火させることにより発生する火災のこと。子供の頃に行った「虫眼鏡で紙を燃やす実験」と同じ原理です。



- 太陽の位置が低くなり、部屋の奥まで光が差し込むようになる冬場に多く発生します。また、冬は空気が乾燥していて、小さな火が一気に燃えあがってしまう危険性があります。
- 鏡の他にもメガネやペットボトル、花瓶、魚の水槽、窓に張り付けた透明な吸盤など、レンズの役目をしそうなものを屋内外を問わず日の当たる場所に置かないよう、天気の良い日に家の中やベランダをチェックしましょう。
- 外出する際は、カーテンを閉めて遮光しましょう。



火災の早期発見と初期消火のため、住宅用火災警報器と住宅用消火器を
設置・点検・交換しましょう！



リチウムイオンバッテリーの取り扱いにご注意を!

近年、リチウムイオンバッテリーからの出火が増加しており、令和5年中に全国で発生した製品火災182件のうち62件(約34%)がバッテリー及びバッテリーを含めた電気用品によるものでした。塩釜地区管内でも発生しておりますので、以下を参考に十分ご注意ください。

管内火災事例

- 令和5年 3月 携帯電話を修理する店舗で、交換中のリチウムイオンバッテリーを破損させ出火した。
- 令和3年12月 モバイル(携帯型)バッテリーを充電中に過熱し、バッテリー本体が破裂し出火した。

●リチウムイオンバッテリーとは?
スマートフォンや携帯用扇風機など様々なものに組み込まれている充電式の電池です。また、スマートフォン等を充電できる予備の電源としても利用されています。

▶ リチウムイオンバッテリーの使用上の注意点

- ① 製品に強い衝撃、圧力を加えない、高温の環境に放置しない。熱のこもりやすい鞆の中などでの使用を控える。
- ② 膨らんでいる、熱くなっている、変な臭いがする、充電できない、不意に電源が切れるなど、異常を感じたらすぐに使用を中止し、購入店やメーカーに相談する。
- ③ 製造事業者が指定する充電器やバッテリーを使用する。
- ④ 新たに購入する場合は、必ずPSEマーク※を確認する。
※「電気用品安全法」の基準をクリアした電化製品に付けられるマーク。
- ⑤ 使用済みバッテリーはリサイクル又はお住まいの各自治体の指示に従いに処分する。



メール登録がまだお済でない会員事業所の皆さまへ

メール登録をお願いします!



郵送経費や事務量の低減、環境保全等の目的から、原則、メールによるご案内に切り替えております。
現在、260を超える事業所様にご登録いただいております。

まだ、メール登録がお済でない会員事業所様につきましては、大変お手数をおかけしますが、下記事務局あて以下の内容をメール送信いただきますようお願いいたします。

送信先：事務局アドレス yobou@sioshou.jp

- | | | |
|---|----------------------------------|--|
| ☐ 事業所名(正式名称) | ☐ 所在地 | ☐ 担当部署・担当者名(任意) |
| ☐ 連絡先TEL・FAX・メールアドレス | ☐ その他必要事項 | |

なお、初回のみメール着信の確認メールを送信させていただきます。

- 【ご注意】 ●メール環境やセキュリティの問題等からメール登録に対応できない事業所様は、これまでどおり郵送方式とさせていただきます(連絡等不要)。
●ポスター等の配付時はこれまでどおり郵送させていただきます。



お問い合わせ 塩釜地区防災安全協会事務局
TEL:022-361-1619 FAX:022-366-5130



塩釜地区消防本部



電子メール による電子申請 受付中!



例えば...

「消防用設備等点検結果報告書」
「防火管理者選任(解任)届出書」
「消防訓練実施計画書」など

令和6年4月から電子メールによる
電子申請の受付を開始しております。

受付できる申請様式(118様式)とフローチャート、
注意事項については下記のQRコードからご確認ください。

24時間365日、いつでも申請できますので、ぜひご活用下さい!

[申請先] 電子メールアドレス (TEL)

[塩釜消防署] shiogama@sioshou.jp (022-361-1621)

[多賀城消防署] tagajo@sioshou.jp (022-355-9704)

[松島消防署] matsushima@sioshou.jp (022-354-4226)

[七ヶ浜消防署] shichigahama@sioshou.jp (022-357-4349)

[利府消防署] rifu@sioshou.jp (022-356-2251)

[消防本部予防課] yobou@sioshou.jp (022-361-1616)

申請様式と
フローチャート
及び注意事項は
こちら!!



令和7年度 危険物取扱者試験・消防設備士 試験

区 分		危 険 物 取 扱 者 試 験										消防設備士試験			
回		第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 8 回	第 9 回	第 10 回	第 11 回	第 1 回	第 2 回	第 3 回
試 験 日		6/7 (土)	7/6 (日)	7/21 (月)	7/27 (日)	9/7 (日)	11/16 (日)	12/14 (日)	12/21 (日)	1/12 (月)	2/15 (日)	3/14 (土)	6/22 (日)	10/5 (日)	2/1 (日)
試験開始時刻		午前 10:30 <甲種、乙種全類、丙種> 午後 14:30 <乙種第4類>										午前 10:30 午後 14:30	午前 10:00 <第1～3、5、6類> 午後 14:00 <甲特、第4、7類>		
試験種類		甲種 ・ 乙種全類<第1、2、3、4、5、6類> ・ 丙種										乙種第4類	甲種全類 ・ 乙種全類		
試験会場		東北大学 川内北C	石巻工業 高校	白石工業 高校	古川工業 高校	東北大学 川内北C	東北大学 川内北C	石巻工業 高校	白石工業 高校	古川工業 高校	東北大学 川内北C	東北大学 川内北C	東北大学 川内北C	東北大学 川内北C	東北大学 川内北C
受付 期間	開始	4/14(月)	5/19(月)	6/2(月)	6/9(月)	7/18(金)	9/29(月)	10/24(金)	10/31(金)	11/14(金)	12/15(月)	1/26(月)	5/7(水)	8/18(月)	12/8(月)
	終了	4/22(火)	5/27(火)	6/10(火)	6/17(火)	7/29(火)	10/7(火)	11/4(火)	11/11(火)	11/25(火)	12/23(火)	2/3(火)	5/15(木)	8/26(火)	12/16(火)
合格発表予定日		6/25(水)	7/24(木)	8/7(木)	8/14(木)	9/26(金)	12/4(木)	1/7(水)	1/15(木)	1/29(木)	3/5(木)	4/2(木)	7/24(木)	11/7(金)	3/6(金)

問い合わせ 一般財団法人 消防試験研究センター 宮城県支部 TEL: 022-276-4840
URL: <https://www.shoubo-shiken.or.jp/>

令和7年度 危険物取扱者 保安講習

危険物取扱者免状の交付を受けており、かつ、危険物施設において現に危険物の取り扱い業務に従事している方が受講する講習です。7月～1月にかけて県内各地で開催されます。日程は5月中旬に下記機関のホームページに掲載予定です。なお、申請書受付期間は令和7年6月1日(日)から令和7年6月20日(金)までです(ただし、下記機関事務局に持参する場合は、土曜・日曜を除きます。)

問い合わせ 一般社団法人 宮城県危険物安全協会連合会 TEL: 022-276-4850
URL: <https://www.miyakiren.jp/>

令和7年度 甲種防火管理 新規講習・再講習

一定規模以上の防火対象物では、その対象物における防火管理業務を行う防火管理者をおくことが義務付けられています。防火管理者は防火管理業務の知識と技能を有することが要件です。

塩釜地区管内で実施される講習会は下表のとおりです。

No.	講習種別	講習日時	講習場所	募集人数	講習料金
1	甲種防火管理 (新規)	7月15日(火)、16日(水)	多賀城消防署	60名	8,000円
2		8月19日(火)、20日(水)	多賀城消防署	60名	8,000円
3		12月16日(火)、12月17日(水)	多賀城消防署	60名	8,000円

問い合わせ 申し込み関係・・・一般財団法人 日本防火・防災協会 TEL: 03-6263-9903
講習会場関係・・・一般社団法人 宮城県消防設備協会 TEL: 022-223-3650

甲種防火管理 (再講習)	講習日時・場所等は、例年6月に塩釜地区消防事務組合のホームページ等に掲載予定です。
-----------------	---

問い合わせ 塩釜地区消防事務組合消防本部予防課
塩竈市尾島町17-22 TEL: 022-361-1619

令和7年度 危険物取扱者試験(乙種第4類) 準備講習会

危険物取扱者(乙種第4類)試験の受験者を対象とした準備講習会を下表のとおり開催いたします。

回	種別	講習会日時	講習会場	受講定員	受講料	申込場所	申込期間
第1回	乙種 第4類	8月4日(月) 9時～17時	多賀城消防署	50名	2,300円 (テキスト代)	下記協会 事務局	7月1日(火)～ 7月25日(金)
第2回	乙種 第4類	10月15日(水) 9時～17時	多賀城消防署	50名	2,300円 (テキスト代)	下記協会 事務局	9月10日(水)～ 10月7日(火)

申込場所・問い合わせ 塩釜地区防災安全協会事務局(塩釜地区消防事務組合消防本部予防課内)
塩竈市尾島町17-22 TEL: 022-361-1619

令和七年度

塩釜地区統一防火標語入選作品

(令和七年三月～令和八年二月)



特選

「火の始末 気に掛け声掛け 再確認」

会社員 眞柄 裕也 (まがら ゆうや) さん

入選

【小学生の部】

「気をつけて ほこりだらけの コンセント」

七ヶ浜町立亦楽小学校 六年生 渡邊 慶斗 (わたなべ よしと) さん

「火事ゼロの そんなミライを 作りたい」

塩竈市立第二小学校 六年生 佐々木 竜太郎 (ささき りゅうたろう) さん

「つなごうよ 防火で笑顔 いい未来」

利府町立利府小学校 五年生 武藤 美咲 (むとう みさき) さん

【一般の部】

「命の火 消さないために 火の用心」

主婦 高川 朋子 (たかがわ ともこ) さん

「消したはず 気になるあの火 再確認」

会社員 佐々木 淑寛 (ささき よしのり) さん

入会事業所のご紹介

- ◆ ヤマギシ洋菓子店(シャンド マルス ヤマギシ) (塩竈市) 令和6年7月
- ◆ 相澤保険有限会社(塩竈市) 令和7年1月

編集後記



新春を迎え、会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。昨年も会員皆様のご協力により、計画されていた全ての事業を推進することができました。また、本会報の作成にあたりまして、皆様快くご寄稿をお引き受けいただき、おかげをもちまして第30号をお届けすることができました。この紙面をおかりしまして厚く感謝申し上げます。

さて、昨年の明るいニュースと言えば、やはりパリオリンピック・パラリンピックでの日本代表選手の活躍ではないでしょうか。選手皆さんの頑張りに感動しました！

乙巳の本年は、これまでの努力や準備が実を結び始める時期とも言われております。事務局としましては、昨年以上の事業運営ができるよう努めて参る所存ですので、引き続き会員皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

本年も、当管内の無事故、無災害と会員事業所皆様のますますのご発展をご祈念申し上げます。〈事務局〉

防災DVDの貸出しについて

皆さんの事業所では、年に数回、火災や地震を想定した消防訓練(避難・通報・消火)を実施されておりますが、新たな知識の習得や技術の向上等のため、防災DVD(映像教材)を活用されてはいかがでしょうか。

昨年、新たに2作品を購入いたしました。この他にも防火管理関係、危険物保安対策関係、震災関係と種々取り揃えておりますので、ぜひご活用ください。

火災予防運動週間前後の2月、3月と10月、11月、みやぎ県民防災の日や危険物安全週間の6月には貸出しが集中しますので、お早目に各市町の消防署にお申込み下さい。

新作情報

- 『思わぬ火もと
—高齢社会・増え続けている電気火災—』(約20分)
- 『はなかつぱのぼうさいくんれん「おかしもち」で
いのちをまもうろ』(約14分)

編集

塩釜地区防災安全協会事務局

塩釜地区消防事務組合消防本部予防課内 〒985-0021 塩竈市尾島町17番22号 TEL 022-361-1619

印刷：プランニングフェロー TEL 022-364-7571